

## 前期基本計画 平成29年度 政策方針書

政 策： 04 ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します

<b>担当部長職・氏名</b>	都市整備担当部長 三上 喜美義
	上下水道担当部長 齋藤 善則

1. 政策の実現状況を明らかにする

(1) 計画のビジョン（政策が実現できたときの状態）

	少子高齢化の進展に対応した暮らしやすい生活基盤の整備・維持管理について、子供から高齢者まで安心して安全に暮らし、交流することで生きがいを感じることができるひとにやさしく安心・快適で活力にあふれるまちとなること。
--	---

(2) 政策目標値の達成状況

No	政策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合 単位 %	75.9	76	76.7	77.4	78	78.5	-	
			74.1	74.3	-	-	-	0.0	
2	幸福 滝沢市に愛着がある市民の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	-	
			72.3	78.3	-	-	-	0.0	
	単位								

(3) 政策を構成する基本施策及び目標値の達成状況

No	基本施策名 基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 04010000 都市づくりビジョンの策定 住民基本台帳（9月末）による人口 単位 人	55,174	55,500	55,500	56,000	56,500	56,500	-	
			55,184	0	-	-	-	0.0	
2	幸福 04010000 都市づくりビジョンの策定 地域の居心地が良いと思っている人の割合 単位 %	62.9	63	64	66	68	70	-	
			61.9	0	-	-	-	0.0	
3	暮らし 04020000 計画的な道路整備と維持管理 滝沢市に愛着がある市民の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	-	
			72.3	0	-	-	-	0.0	
4	幸福 04020000 計画的な道路整備と維持管理 子どもが安全に通学できると感じる人の割合 単位 %	46.3	47	48	49	50	51	-	
			49.3	0	-	-	-	0.0	
5	暮らし 04030000 利用しやすい交通網の整備 市内のバスや電車は便利で利用しやすいと思っている人の割合 単位 %	35.1	35.1	36	36.5	37.5	38	-	
			31.7	0	-	-	-	0.0	
6	幸福 04030000 利用しやすい交通網の整備 子どもが安全に通学できると感じる人の割合 単位 %	46.3	47	48	49	50	51	-	
			40.4	0	-	-	-	0.0	

前期基本計画 平成29年度 政策方針書

政 策： 04 ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します

担当部長職・氏名	都市整備担当部長 三上 喜美義
	上下水道担当部長 齋藤 善則

(3) 政策を構成する基本施策及び目標値の達成状況

No	基本施策名 基本施策目標指標	基準値 平成26年度	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値 平成31年度	進捗状況 進捗率(%)
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
7	暮らし 04040000 河川砂防・雨水排除施設の整備 浸水被害件数 単位 件	1	1	1	1	1	1	-	
			1	0	-	-	-	0.0	
8	幸福 04040000 河川砂防・雨水排除施設の整備 滝沢市に愛着を持っている人の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	-	
			72.3	0	-	-	-	0.0	
9	暮らし 04050000 持続可能な水道経営 経営資本営業利益率 単位 %	1.9	1.9	1.9	1.9	1	1	-	
			1.97	0	-	-	-	0.0	
10	幸福 04050000 持続可能な水道経営 滝沢市に愛着がある市民の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	-	
			72.3	0	-	-	-	0.0	
11	暮らし 04060000 安全で強靱な水道の持続 滝沢市の水道水がおいしいと感じている人の割合 単位 %	68.1	70	71	72	73	73.5	-	
			70.8	0	-	-	-	0.0	
12	幸福 04060000 安全で強靱な水道の持続 滝沢市に愛着がある市民の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	-	
			72.3	0	-	-	-	0.0	
13	暮らし 04070000 効率的な汚水処理施設の整備 水洗化率(行政区域内人口に対する合併浄化槽も含めた水洗化率) 単位 %	76.7	77.5	78.5	79.5	80.4	81.3	-	
			82.5	0	-	-	-	0.0	
14	幸福 04070000 効率的な汚水処理施設の整備 滝沢市に愛着を持っている人の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	-	
			72.3	0	-	-	-	0.0	
	単位								
	単位								
	単位								
	単位								

## 前期基本計画 平成29年度 政策方針書

政 策：04 ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します

担当部長職・氏名	都市整備担当部長 三上 喜美義
	上下水道担当部長 齋藤 善則

### 2. 政策の実現に向けての現状を認識する

#### (1) 政策目標の進捗状況分析

- ・ビッグループ滝沢の全面オープンや順調に事業が進められているスマートインターチェンジなど将来の交流・活力が生まれる拠点づくりに向けた環境が整いつつあります。
- ・ビッグループの開設に合わせた市内幹線バス網の整備は財源調整が困難な状況にあります。今後は市に相応しい公共交通網形成計画を市民やバス事業者等と連携しながら策定し、同時にバスマップの作成等により公共交通の利用促進を図る必要があります。
- ・上下水道事業は、市民生活のライフラインとして将来にわたって事業を持続することが重要であり、事業開始から40年近く経過しており、老朽施設の延命化と更新を図り、事業の安定経営が継続できるように取り組んでいます。

#### (2) 政策の実現に影響する社会環境変化

- ・交通政策基本法、空き家対策特別措置法等少子高齢化等社会情勢の変化を背景とした法令化が見られます。
- ・消費税の増税や震災復興、オリンピック需要等から資材価格の高騰や人手不足、高齢化に伴うオペレーター確保等に課題があります。・少子高齢化による交通移動弱者や小規模水需要者が増えています。
- ・国からの補助金・交付金は一段と減少傾向にあり、復興期間中であることや新たな大規模災害の発生等から、今後益々不透明な状況が続くものと思われます。
- ・市内においてビッグループが完成し、S I C等大規模事業も順調に整備が進められております。
- ・近年、ゲリラ豪雨や地震、火山等による災害が多発しており、自然災害に対する予防保全対策が必要となっています。
- ・東日本大震災を教訓に、上下水道施設の耐震化と緊急時の事業継続体制の確立が求められています。

### 3. 政策の実現に向けての取り組みを決定する

#### (1) 政策の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針

- ・市に相応しい持続可能な公共交通網形成計画を策定するとともに、関係部署、関係機関と調整しながら必要かつ実効性あるバス交通の整備について検討して参ります。
- ・交流と活力、雇用の拠点づくりに向けた土地利用ビジョンを策定するとともに公表し、関係機関との協議・調整を進めて参ります。
- ・滝沢中央スマートインターチェンジについて平成31年3月の完成・供用を目指しネクスコ東日本ほか関係機関と連携しながら着実に事業を進めて参ります。
- ・歩行環境の充実等安全な道路および河川環境の整備を着実に進めるとともに、今あるストックが安定し持続可能なものとするため地域の連携と中長期的視点による事業を展開して参ります。
- ・岩手山麓の水源を確保するとともに、水の安全管理を徹底し、老朽管の更新や地震に強い配水管の整備を進めます。
- ・経営の効率化と利用者サービスの向上のため、上下水道料金徴収業務の民間委託を行っています。
- ・簡易水道事業の水道施設更新を推進し、上水道との事業統合を進めます。
- ・市街化区域内の公共下水道整備を推進し、またその他の区域は放流先を確保しながら、合併処理浄化槽の設置を推進します。

#### (2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、平成29年度の重点課題

- ・土地利用ビジョンの策定、公表、関係機関との事前協議
- ・地域公共交通網形成計画の策定と公共交通の利用促進、必要かつ実効性あるバス運行の検討
- ・道路維持管理ビジョンの策定
- ・スマートインターチェンジの安定的な財源確保と事業推進
- ・空き家対策に向けた実態調査と対策の推進、市民・議会への進捗状況の説明
- ・上下水道料金徴収業務委託の円滑な実施
- ・合併処理浄化槽の普及のための助成制度の周知

#### (3) 基本計画内方針及び平成29年度重点課題に基づく優先順位の考え方

関連事業との調整により着実な実施が求められる事業

- ・交流拠点複合施設の開設や国道4号関連をはじめとする国県道管理者との連携と市道整備の推進
- ・市に相応しい公共交通網形成計画の策定とマップ等を活用した利用促進、必要かつ実効性あるバス交通の整備の検討
- ・平成30年度末のスマートインターチェンジの完成・供用開始に向けた安定的財源の確保と建設工事の推進

新規に取り組む事業

- ・土地利用ビジョン策定と関係機関との事前協議
  - ・空き家対策の実態調査のフォローと対策の推進、市の方針策定
- 道路・河川・上下水道の整備・維持管理・更新事業計画の着実な実施(交付金事業等)
- ・水道事業における施設の老朽化に伴う更新と事業の安定経営の持続
  - ・下水道事業における汚水処理の促進と事業経営の安定化

